

2024年度 第1回 研修会

算数障害の理解と対応

一般的にLD/SLDと呼ばれるお子さんを思い浮かべた時、「読み書きの困難さ:ディスレクシア」を想像することはありませんか？

米国精神医学会では、「読字障害」「書字障害」「算数障害:ディスカリキュリア」の困難さの総称として限局性学習障害(SLD)という診断を用いており、算数障害の発症率は2022年の文科省の調査ですと3.4%となっています。そのため、1学級35名だと想定すると1~2名前後在籍していることになります。

第1回研修会では、算数障害の第一人者であり、学習障害のアセスメントや療育に対する研究や実践で、様々な賞を受賞されています熊谷先生をお招きし、算数障害の理解に必要な基礎知識、アセスメントの方法、対応についてご講義いただきます。

皆様のご参加をお待ちしています。

筑波大学 名誉教授

熊谷 恵子先生

臨床心理士、言語聴覚士、公認心理師、特別支援教特別支援教育士SV。ご専門は、学習障害児の療育指導、算数障害児、神経科学であり、早稲田大学でもご講義を担当いただいています。

主な著書

「算数障害のスクリーニング検査:適切な学習指導は正確なアセスメントから」(学研)



【日 時】2024年7月21日(日) 9:00~12:00

【場 所】早稲田大学中野国際コミュニティプラザ 及び ZOOMによるオンライン研修

【参加費】会員:1000円(早大生:無料、学外生:500円)

一般:3000円(早大生:1000円、学外生:1500円)

【申込方法】QRコードよりお申し込みをお願いいたします。

【お問い合わせ】dev-dis-office@list.waseda.jp (インクル学会事務局)

※本研修会は、学校心理士資格更新ポイントBI 研修申請中です

